



新しい年を迎えました。昨年は沖縄県知事選で新基地建設にノーの審判が下り、12月の臨時国会では市民と野党の共闘で自民党改憲案の提出を断念に追い込み、安倍政権は行きづまりをみせています。4月には統一地方選挙、7月には参議院選挙がおこなわれます。今年こそ、民意を無視した暴走政治を終わらせ、新しい政治の流れを切りひらく年になるよう、日本共産党神戸市会議員団12名全力で頑張る決意です。

神戸と日本の希望ある未来をひらく年に

ごいっしょにつくりましょう

地域の暮らしに寄り添う神戸を

日本共産党神戸市議団の「市民アンケート」にはたくさんの方からご意見をいただきました。アンケートで「まちの活性化のために、市政にのぞむこと」のトップは「ムダな公共事業の削減」(44%)です。安倍政権いいなりの久元市長は、自民・公明・維新と一体で、三宮一極集中の再開発に熱中し、「都市空間向上計画」で郊外・ニュータウン地域を切り捨て、市街地に過密・集中させる計画を進めています。いま、地域では「スーパーの撤退で移動販売しかない」「バスが減便されて不便」「台風・大雨のたびに崩れる崖や冠水」などの課題が山積しています。地域の切実な願いに応えることこそ神戸市政は最優先にすべきです。日本共産党市議団は、住民のみなさんの暮らしに寄り添い、願い実現に全力をあげています。ごいっしょに希望ある新しい政治をつくりましょう。

- 1 大震災の経験を忘れず、災害に強いまちづくりを**
  - 土砂災害、豪雨・高潮・津波の浸水対策を強め、市民の命と財産をまもります
  - 被災者生活再建支援法を見直し「半壊」「一部損壊」「床上・下浸水」世帯にも支援を求めます
- 2 子育てしやすい神戸に変えよう**
  - こども医療費の完全無料化をすすめます
  - 待機児童ゼロへ、認可保育所を増やします
  - 学校調理で、あたたかい中学校給食に
  - いじめ・体罰を許さず、一人ひとりに寄り添える少人数学級をひろげます
- 3 いのち・健康を守ります**
  - 国民健康保険料を、一世帯一万円引き下げます
  - 介護保険料の値下げ。介護施設を増やします
  - 公的病院や、区役所、保健所、児童福祉施設など、住民に寄り添える施設を充実させます
- 4 賃上げ・長時間労働の改善 中小業者・商店街を応援**
  - 公契約条例を制定し、「官制ワーキングプア」をなくします
  - 住宅・店舗リフォーム助成。個別店舗への支援制度をつくります
- 5 石炭火力発電所ストップ 原発ゼロ・脱炭素社会を神戸から**
  - 神鋼石炭火力発電所の増設中止をもとめます
  - 地産地消・地域分散型の自然エネルギーの普及で、クリーンな仕事おこしをすすめます
- 6 きれいな政治を 不正とムダをただす**
  - 三宮再開発をはじめ、大阪湾岸道路、国際戦略港湾などムダな大型事業をストップします
  - 議員の費用弁償を受け取っていない政党として、費用弁償などの制度廃止を求めます

**市民のみなさんと力をあわせて 願い実現!**

野党であっても

日本共産党 神戸市会議員団

日本共産党は、4年前の神戸市議選における市民みなさんの選択で、12議席・第二党に。日本共産党市議団は、野党であっても、地域とむすびついた草の根のネットワークと9つの行政区すべてに議席をもち、住民の運動と議会の論戦で、住民の切実な願いを実現し、市政を動かしてきました。

**小中学校へのエアコン設置**

昨年10月26日の日本共産党の今井まさこ議員の質問に対し、教育長は「国の交付金制度などを活用し、特別教室とともに、避難所になった中学校の体育館に優先的にエアコンを設置したい」と市議会で表明しました。特別教室への設置の交付金申請が12月4日に国で採択されるとともに、小中学校の体育館への設置の予算化についても検討が始まり、大きく前進しています。

**被災者に寄り添い支援を充実**

昨年夏の台風・大雨災害で日本共産党は、被災者から要望を直接聞き、灘区篠原台など被災私有地の土砂撤去や、避難所の待遇改善、市独自の公費助成を求めてきました。昨年9月、被災者生活再建支援法の対象外の半壊・一部損壊・床上浸水世帯にも支援金を支給する新規制度や見舞金拡充が実現。これまでに、7月豪雨・台風20号・21号あわせて、168件5900万円が支払われました。

**実効性のある財政提案 予算組み替え**

予算の2%ほどの税金の使い方を改めれば、多くの施策が実現できます。市民の願いに裏づけられ、市政の無駄を削る実効性ある財源対策で、外郭団体への過大な補助金の抑制、妊産婦健診の拡充などが実現。子どもの医療費無料や、国民健康保険料引き下げに必要な予算は、三宮再開発など大型開発と比べればわずかな額です。新年度でも、予算組み替えを提案します。

# 安倍政権の暴走にノーと言える神戸市政を

日本共産党神戸市議団がおこなった「市民アンケート」では、市民生活に関わる問題として、憲法と消費税について伺いました。

安倍政権による憲法第9条を変えることについては68%の方が反対。消費税10%増税については70%の方が反対を表明されました。



北区・朝倉えつ子議員

西区・林まさひと議員

公的病院の維持充実をひよどり台小にエレベータ増設を鈴蘭台に体育館の新設を

玉津の区役所存続を西河原ポンプ場の整備急げ押部谷にスーパー誘致を

12月6日、一般質問で北区や西区の切実な課題の解決を求めました。

## 安倍政権による9条改憲ストップ

安倍首相は、任期中に9条改憲をおこなうとして、自民党改憲案を国会に提出することを狙っています。神戸市は、平和都市宣言を採択し、核兵器を積載した軍艦の神戸港入港を拒否する非核「神戸方式」ととって、平和の街が市民に親しまれています。

### 「地方自治」の役割発揮を

久元市長は「(憲法改定について)地方自治体の長が、見解を表明する必要はない」としながら、改憲の動きに合わせ、神戸市が行ってきた「憲法擁護の集会」に対する「後援」を拒否するようになっていきます。

神戸市は、国の出先機関ではありません。政府の横暴に対して、住民の立場からノーの声を上げるのは地方自治体の役割ではないでしょうか。

## 消費税10%増税に反対を

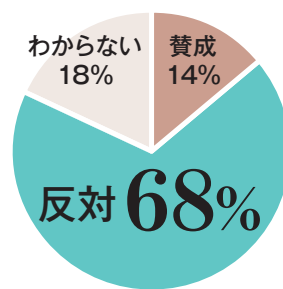
今年10月から政府は、消費税を10%に増税するとしています。いま、深刻な消費不況が続き、貧困と格差が拡大しています。市民の暮らしをかえりみずに増税すれば、取り返しのつかない悪影響をもたらします。

### 税金の使い方こそ見直しを

久元市長は、消費税増税と住民福祉を天秤にかけた安倍首相の手法そのままに、認知症事故救済に、70万人もの納税市民への一人当たり年400円の住民税増税を強行しました。

「税金は負担能力に応じて」——富裕層と大企業に応分の負担を求めることこそ最優先に。三宮巨大開発の見直しや、毎年6億円もの誘致企業への減税やめるなど、税金の使い方こそ改めるべきです。

### Q. 憲法9条(戦争放棄)を変えることについて



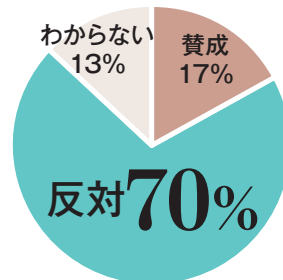
#### 神戸市議会で与党は

「公務員がその憲法を守る立場だから、護憲集会を後援しなきゃいけないなんてことはない。後援を出すことは、徹底的に反対」

(自民党・橋本健・当時 2014年3月20日 文教こども委員会)



### Q. 消費税の10%への増税について



#### 神戸市議会で与党は

「ふえていく社会保障費をどうするということで、消費税に行き着く。神戸市も一緒に社会保障費の増大、また三宮の再整備、大阪湾岸道路西伸部の整備とか大規模プロジェクトがめじろ押し。その財源を確保して安定的な財政運営を行うのは当たり前」

(公明党・藤本浩二 2018年2月28日 予算特別委員会)



### ヤミ専従問題

## 「神戸市当局主導」の違法行為と第三者委員会が断罪

神戸市当局と労働組合幹部は組織ぐるみでヤミ専従(正規の手続きを経ず勤務中に組合活動)を行ってきました。

市の第三者委員会は、中間報告で「職員減らしなどの事業を円滑に進めるため、神戸市の意向が強く反映され、当局主導で行われてきた脱法行為、と断罪しました。

久元市長らが、阪神・淡路大震災以降、全国平均の2倍にあたる33%という強引な職員削減をすすめた結果、異常な長時間・過密労働がひろがりました。

12月3日、議会での日本共産党の味口としゆき議員の質問に、久元市長は5年間見過ごしてきた責任をみとめました。久元市長は、副市長時代から「神戸市主導のヤミ専従」を職員減らしと福祉切り捨てに利

用してきた実行者としての責任もしっかりととるべきではないでしょうか。

### チェックオフ廃止条例の採択は継続審査に

自民党や維新の会などは、一連の不祥事を口実に市職員からの組合費の給与天引き(チェックオフ)を廃止する条例案を提案し継続審査となっています。しかし第三者委員会の報告ではチェックオフが全く関係ないことが明らかになっています。人事委員会も「長年にわたり労使慣行で定着しているチェックオフの廃止は、職員の不利益になる」と異例の意見を上げています。

12月5日、赤田かつのり議員が討論にたち、不当な労使介入をやめて直ちに廃案にすべきと求めました。

### 【自民党元議員の政務活動費不正】



政務活動費約690万円をだまし取ったとして、10月29日、橋本健自民党元神戸市議に、懲役1年6月、執行猶予4年の判決が下りました。

昨年2月にも自民党元市議3人も有罪判決を受け、裁判所から「会派内での政活費への意識に相当の問題があった」と批判されています。

自民党の会派の、不正金額は約5千万円に。ところが自民党は、これ以上の不正解明を拒否する一方、労組の「ヤミ専従」問題を「自党のイメージアップ」と「対立候補をけん制」する「チャンス」と語る(神戸新聞11月1日付より)など、まったくの無反省ぶりを示しています。

みなさんのお住まいの地域で、暮らしに寄り添い、願い実現に全力 日本共産党神戸市会議員団



松本のり子 西ただす 味口としゆき 大前まさひろ 金沢はるみ 朝倉えつ子 大かわら鈴子 森本真 山本じゅんじ 赤田かつのり 今井まさこ 林まさひと  
TEL414-8875 TEL414-8875 TEL881-2581 TEL351-2541 TEL987-1130 TEL591-4755 TEL577-7987 TEL642-0448 TEL732-6578 TEL753-5287 TEL753-5287 TEL919-6650